

「ふね遺産」（応募様式）：A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2017年12月1日提出 氏名（個人名または団体の代表者名）：公益財団法人伏木富山港・海王丸財団

所属（個人は住所）：0766-82-7084

メールアドレス：海事課長 木戸 秀太郎 (deck@kaiwomaru.jp)

その他の連絡先：FAX 0766-82-5197

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物の名称：帆船 海王丸 所有者：公益財団法人伏木富山港・海王丸財団	1930年～1989年 運輸省航海訓練所 1989年～2002年 帆船海王丸記念財団 2002年～現在 伏木富山港・海王丸財団
2. 対象物の作成・存在時期	作成時期：1930年（昭和5年）2月14日進水 存在時期：1930年～現在	
3. 現状 （写真添付）	 2017年5月	
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】 (1) 【認定基準】 (4) (11) (12)	
5. 歴史的・工学技術的意義	(1) 現存するもので、日本で最古の帆船である。 (2) 多数の船員を教育し、練習船としての現役を引退した現在においても海事思想普及活動を行っている。 (3) 図面や航海の記録など多くの資料が現存している。	帆船日本丸と一緒に同じ造船所で並んで建造された。
6. 参考資料・文献 （本表に収まらない場合は別途添付する）	〈参考文献〉 (1) 『練習帆船日本丸・海王丸50年史』 成山堂書店、1980年8月発行 (2) 『航海訓練所五十年史』 運輸省航海訓練所（財）練習船教育後援会 1993年11月発行 (3) 『海洋叢書 [1] ～ [12]』 （財）帆船海王丸記念財団 1991年3月発行～2002年3月発行 その他、本表に収まらないので、上記(1)～(3)も含め別紙(1/2、2/2)に記載しました。	

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する項目を、文頭の番号で記載して下さい（複数項目可）。

〈参考文献〉

- (1) 『練習帆船日本丸・海王丸 50 年史』 運輸省航海訓練所監修、成山堂書店、1980 年 8 月発行
- (2) 『航海訓練所五十年史』 運輸省航海訓練所、(財) 練習船教育後援会、1993 年 11 月発行
- (3) 『海洋叢書〔1〕～〔12〕』(財) 帆船海王丸記念財団、1991 年 3 月発行～2002 年 3 月発行
- (4) 『練習帆船日本丸・海王丸』 千葉宗雄、丸ノ内出版、1973 年 11 月発行
- (5) 『海の貴婦人 帆船海王丸』(財) 帆船海王丸記念財団、1990 年 6 月発行
- (6) 『海の貴婦人 帆船海王丸』(財) 帆船海王丸記念財団、1996 年発行
- (7) 『文部省航海訓練所練習船日本丸及海王丸建造概要』 文部省、1931 年 3 月発行
- (8) 『姉・妹と昭和の海―初代日本丸・海王丸誕生から戦中・戦後を経て再び雄飛まで―』 荒川博、ぶんしん出版、2012 年 6 月発行
- (9) 『帆船日本丸―半世紀を越える歴史のすべて―』(財) 帆船日本丸記念財団、1986 年 3 月発行
- (10) 『帆船日本丸記念財団 10 年のあゆみ 日本丸公開 10 周年記念』(財) 帆船日本丸記念財団、1995 年 4 月発行
- (11) 『帆船日本丸進水 80 周年公開 25 周年記念 帆船日本丸記念財団 25 周年記念誌』(財) 帆船日本丸記念財団、2010 年 4 月発行
- (12) 『帆船日本丸記念財団 30 年のあゆみ』(公財) 帆船日本丸記念財団、2015 年 4 月発行
- (13) 『帆船 中村庸夫写真集』 中村庸夫、読売新聞社、1983 年 2 月発行
- (14) 『富山新港の帆船海王丸』 市原義三、新湊市教育委員会、1991 年発行
- (15) 『帆船への招待』 荒川博、海文堂、1986 年 3 月発行
- (16) 『帆船図説―日本丸・海王丸の艦装と帆走―』 橋本進、海文堂、2001 年 7 月発行
- (17) 『帆船』 山口良次、浅水嘉治夫、毎日新聞社、1972 年 8 月発行
- (18) 『帆船日本丸と海王丸 50 年のロマン』 中村庸夫、千葉宗雄監修、立風書房、1976 年 6 月発行
- (19) 『練習帆船 日本丸/海王丸』 船の科学館資料ガイド 8、船の科学館、2008 年 7 月発行

〈参考資料〉

日本船舶海洋工学会

- (20) 『保存帆船「海王丸」と連携したニュー・シーマンシップの涵養』 千葉元、舘清志、日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」第 24 号掲載、2009 年 5 月発行

日本航海学会

- (21) 『初代帆船「海王丸」の現役引退後の歩みと今後の展望―伏木富山港への誘致の経緯から現在までの功績―』 澤田実希、千葉元、斎藤重信、日本航海学会 2017 年度秋季講演会、2017 年 10 月
- (22) 『初代帆船「海王丸」が伏木富山港に来てからの歩み～展帆ボランティアから帆船遠洋航海までの経験で学んだ事～』 澤田実希、千葉元、斎藤重信、大坂篤志、日本航海学会 2016 年度秋季講演会、2016 年 5 月
- (23) 『初代帆船海王丸の大規模修繕工事について』 斎藤重信、日本航海学会誌 Navigation Vol. 195 掲載、2016 年 1 月
- (24) 『海洋系高校・商船系高専による富山湾の海洋観測と海洋教育』 千葉元、澤田和之、日本航海学会誌 Navigation Vol. 195 掲載、2016 年 1 月
- (25) 『帆と機関によるハイブリッド推力船の運航に関する基礎研究 I ―帆船における最適航路選定法―』 萩原秀樹、庄司邦昭、杉崎昭生、日本航海学会論文集第 64 号掲載、1981 年

日本建築学会

- (26) 『保存帆船「海王丸」の歴史と地域貢献』千葉元、須賀達彦、森勇介、舘清志、他、
(社) 日本建築学会・海洋建築委員会研究協議会 2010、2011 年 9 月
- (27) 『保存船・展示船・復元船における現状調査ーリギングのメンテナンスについてー』城岡祥子、千葉元、
阿部真二郎、日本建築学会学術講演会 2009 年度大会 (中国)、2008 年 9 月

学内研究報告

- (28) 『歴史的保存船の保存環境に関する調査』千葉元、城岡祥子、富山商船高等専門学校研究収録 Vol. 41、
2009 年 7 月

航海訓練所 調査研究時報・雑報・研究発表会

- (29) 『初代海王丸の大規模修繕工事についてー新素材による船底外板補修ー』岩元省吾、菅原将志、
斎藤重信、時報第 92 号、2014 年 3 月
- (30) 『初代海王丸のシーアンカー』榊原祐一郎、第 8 回研究発表会、2009 年 3 月
- (31) 『初代帆船海王丸マスト更新工事記録』上田英夫、甲斐繁利、阪本義治、雑報第 118 号、1996 年 12 月
- (32) 『初代海王丸での海洋教室』磯崎道利、國枝佳明、笹谷敬二、米原健一、雑報第 105 号、1992 年 9 月
- (33) 『練習帆船日本丸・海王丸 50 年史追補ー海王丸編ー』航海訓練所、雑報第 98 号別冊、1989 年 12 月
- (34) 『海王丸における帆走性能に関する研究ー特に速力率についての考察ー』小川征克、芋生秀作、
栗原和栄、時報第 63 号、1987 年 3 月
- (35) 『海王丸補助ボイラにおける助燃剤の効果について』奥田勝三、雑報第 89 号、1986 年 8 月
- (36) 『海王丸機関室の防音対策について』高井行雄、三島利治、雑報第 88 号、1986 年 3 月
- (37) 『海王丸上甲板新替工事について』安田岩男、藤井照久、他、雑報第 75 号、1982 年 5 月
- (38) 『海王丸機関プラント換装について』小林清武、田村彰久、村上洋治、中井勤、橋本誠悟、
雑報第 65 号、1979 年 12 月
- (39) 『練習船日本丸・海王丸建造回顧録』航海訓練所、時報別冊、1976 年 12 月
- (40) 『海王丸クランクデフレクション矯正に関する若干の考察』富田正久、時報第 7 号、1952 年 8 月

その他

- (41) 『初代帆船海王丸の大規模修繕工事について』斎藤重信、
(社) 全日本船舶職員協会「全船協」第 123 号掲載、2013 年 8 月
- (42) 『初代海王丸は今！海王丸船長からの報告』斎藤重信、
(社) 全日本船舶職員協会「全船協」第 120 号掲載、2012 年 8 月
- (43) 『帆船実習の必要性～初代「海王丸」80 歳を記念して～』斎藤航大、沢田耀一郎、土屋秀生、
石黒絵里香、浦畑清楓、日本海事広報協会「ジュニアマリン賞」高校生部門優秀賞受賞、2011 年 3 月
- (44) 『海王丸ボランティアについて～受け継がれる海王丸の歴史～』森由衣子、丸山莉紗、石川岬希、
田畑龍ノ介 日本海事広報協会「ジュニアマリン賞」高校生部門優秀賞受賞、2010 年 3 月